

狭い敷地をUスタイルで有効活用。一体感のある外観に

M様邸

自宅で仕事をされているM様は、狭い敷地に車2台+1台分のゲスト駐車場を希望。そこで敷地対応力の高い「Uスタイル」で限られたスペースいっぱいにカーポートを設置。門や塀などに建物と同系色の色と素材を使って、一体感のある外観デザインに仕上げました。



【エクステリア全景】

ベージュ系の建物の外壁に合わせて、レンガ+土壁で低い門と塀を設置。カーポートや門扉などの金具類が、すべて建物の窓枠と同じアーバングレー色なので統一感があります。



【カーポートの床】
コンクリートだけでなく、砂利や角石で変化をつけておしゃれに。

【カーポートの奥の中庭】
水はけが悪くて木が育たないため、床を天然石貼りや砂利を敷くなどしてテラス風の庭に。



カーポートの一角は、建物の形に合わせて庇をプラスしたため、雨に濡れない自転車置き場に。こういうことができるのも「Uスタイル」の敷地対応力のなせるわざ。



【カーポート】
カーポートは「Uスタイル」を採用。ぎりぎりのスペースに美しく納まり、2台の駐車を可能にしています。



【玄関アプローチ】
曲がって入るアプローチが、狭いスペースに距離感をもたらしています。左の門扉は「ニューカムフィ」、右の手すりには「エトランポ」の下にパンチングの汎用型材を組み合わせたもの。

斬新な和の感覚で築100年の料亭をリフォーム T様邸 (料亭)

名古屋にある格式高い料亭のエンタランスと、建物のインテリアの一部をリフォーム。築100年以上の由緒ある建物なので、古い部分とリフォーム部分が違和感なく調和するように神経を使い、とくにエンタランスは最初から侘びた風情に仕上げました。



【玄関ホール】
赤い絨毯を敷き詰めたホール。右側のカウンターの奥には、坪庭のような一角を設け、つくばい風のしつらいで水が流れ、そこに生け花が飾られています。



【店のエンタランス】
狭いコーナーにつくばいや灯籠を配置して、しっとりとした落ち着いた空間を演出。左の太木と井戸（写真には入っていない）以外はすべてリフォームして新しくしましたが、あえて古さを演出するため、苔むした古い感じに仕上げられています。



【玄関アプローチ】
エンタランスを左に見て、玄関に。引き戸の棧から漏れる光や、天然石貼りの床に打ち水の風情が美しい。



【客室+坪庭】
客室もリフォーム。雪見障子の向こうに設けられた坪庭には、ミニつくばいなどをあしらって雰囲気演出。

事例ノート

埼玉県大里郡
有限会社 彩光建設 様

“リーズナブルな価格で確かな仕事”に情熱を燃やす若い職人集団。 宅地造成から外構主導でプランニングを



代表取締役・志村敏様

以前は住宅と公共建築を扱う工務店で土木工事を担当していましたが、平成11年に独立して、エクステリアと土木の設計施工をおこなう当社を創業。最初は不動産会社や工務店からの仕事を中心でしたが、しだいにエンドユーザーのお客相手が増え、現在実績は月に7~8件で、そのうち6:4でエンドユーザーのお客が多くなってきています。なぜ増えてきたのかは……口コミでだんだん、という感じですかね。これといった広報活動はしておらず、チラシやDMを打ったことも一度もないんです。ですから、1件1件きちんと質の高い仕事をしてきたことと、コストを抑えたリーズナブルな価格で提供してきたことが評価されたのではないかと考えています。スタッフは15名。その大半が20代の若さで、みんな情熱をもって仕事に取り組んでいます。しかも、プランナー1名と事務1名以外の13名は、すべて外構や土木の職人です。いってみれば当社は職人集団なのです。ですから、職人ならではの目線で、

デザインばかりが先行してしまうことのない確かなプランを提案しますし、納まりのいい工事をして、ブロック1本でも無駄な使い方をしません。そのあたりが、“仕事の質が高く、価格がリーズナブル”という評価につながっているのではないかと思います。また、土木工事ができるのも強みです。このあたりの土地は、畑から宅地に造成することが多いので、造成と外構をまとめて請け負えば、最初からエクステリア主導でプランニングができるのです。事例としてご紹介しているK様邸も、敷地の造成から手がけたものです。そのため、建物の設計段階からエクステリアのプランも進めることができ、配線・配管なども建物側と話し合いながら決められ、バランスのいいプランになったと思います。今後は、いまのところなかなか手が回らないアフターサービスも、強化していきたいと思っています。そして将来は、宅地造成・外構から建物の建築まで手がけ、エクステリアと建物をトータルにプランニングしていきたいですね。

現場での納まりも考えて デザインしています



設計を担当するアドバイザー
小谷野千鶴様

エクステリアの設計歴は1年半ですが、その前に5年ほど建物の設計をしていました。建物はモジュールが決まっていますが、エクステリアは型にはまらず、現場によってすべて違う。なのでデザインするのが大変ですが、その分面白いですね。当社は職人集団なので、こうすると納まりがいいとか、ブロックを切らないですむといった、現場サイドの意見がどんどん出てきます。おかげで現実的なものをふまえたうえで、無理のないプランニングができます。今後は、話題のリビングガーデンなどを取り込みながら、エクステリアと建物をトータルコーディネートしていきたいです。

